



瀧本 孝一 議員
(遠野令和会)
一問一答方式

新型コロナウイルスから市民を守るには

市長：…臨時広報の発行や専用電話窓口等を設置した

問：市内の観光産業や経済活動への影響の有無は。

答(市長)：市内の観光産業や経済活動への影響の有無は、理由としたものは、2件162人あった。教育旅行など、今後においても影響が想定される。

問：市内の冬祭りイベント等では、感染拡大防止に向けた対策の徹底や体調不良者の入場自粛を図るとともに、中止・延期もある。

答(市長)：市内の冬祭りイベント等では、感染拡大防止に向けた対策の徹底や体調不良者の入場自粛を図るとともに、中止・延期もある。宿泊業者への確認では、2月1日から同24日までに19件218人分のキャンセルがある。

問：医療機関・高齢者施設・学校等への対策及び、市民への周知・対応・対策は。

答(市長)：日頃から、医療機関や社会福祉施設等は感染症の予防対策は徹底

少雪時の除排雪委託業者への支援等は

市長：…より良い委託の手法の検討が必要

問：今冬の異常気象的な暖冬の除排雪状況と、業務委託業者の経営への影響等の見解は。

答(市長)：全国的な傾向で、地球温暖化の影響があると思われる。過去5年の平均除雪費1億3千5百万円余に対し、今年度1月末時点での執行額は2千6百万円余である。

問：今年度の除雪費が例年に比べて少ないとしても、建設業本来の土木工事等の受注で経営が成り立っているものと思慮する。

答(市長)：来年度に向けて業者と意見交換の場を持ち、課題や方向性を確認し良好な関係を構築するよう話し合いを進める。当市に合ったより良い除排雪業務のあり方や、保証ではなく傷んだ道路を補修するような修繕費として、費用を支払う手法も検討していきたい。



この冬は降雪が少なく、出動回数も大幅に減った除雪機械

木質バイオマス発電による産業の活性化を図るべきでは

市長：…現時点では市で導入する計画はない

問：遠野市はこれまで木質バイオマスによるポイラーを公共施設等に導入してきた。更に踏み込んで、木質バイオマス発電を進める事を考えては。

答(市長)：木質バイオマス発電は、熱利用の課題も多く、規模も大きなものがある。発電事業による産業振興・雇用対策、

問：この発電システムによる市内の電力を自給自足することも可能である。発電事業による産業振興・雇用対策、

答(市長)：木質バイオマス発電は、熱利用の課題も多く、規模も大きなものがある。発電事業による産業振興・雇用対策、

防災、ゴミ対策、更には清養園の熱源に活用が考えられ、一石何鳥にもなり得るのではないか。

問：良い仕組みであり、再生可能エネルギーの位置付けも可能であるが、大規模な発電施設に持ち込まなければ採算は取れないと考える。岩手県でどのように位置付けるかのトータルコーディネートがなければ難しい。現時点で、遠野市で導入する計画はない。

答(市長)：人口減少に向き合い、地域人材を育成していく。一極集中の構造を作ってはならないという事で、議員の理解を得ながら取り組んできた。この2校は

高校再編の中、2校存続はどうなるのか

市長…令和2年度の統合判断は、人数確保で回避できるものと考え

問：遠野高校と遠野緑峰高校の2校存続に向けたこれまでの取り組みと現状は。

答(市長)：人口減少に向き合い、地域人材を育成していく。一極集中の構造を作ってはならないという事で、議員の理解を得ながら取り組んできた。この2校は

問：今後の対策をどのように考えるか。

答(市長)：新たな高校再編後期計画は案の段階、前期計画を引きずった計画になっている。県下市町村長懇談会での提言により連携取り組み、2校の魅力年全国に発信し、県外入学者の拡大を図り、将来の定住人口に繋げていきたい。



菊池 巳喜男 議員
(遠野令和会)
一問一答方式

その他の質問

- 新型コロナウイルス等への対策について



岡山県真庭市出資によるバイオマス発電所
(提供：真庭市役所林業・バイオマス産業課)